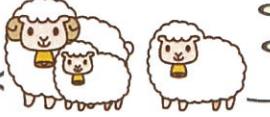
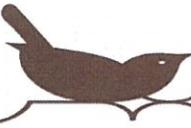


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 6

2021年9月24日発行



9月の聖句

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。』

(新約聖書・ヨハネによる福音書15章5節)

イエスさまの時代、ぶどうの木は低く剪定され、枝も短く剪定され、ぶどうの実の房は木に寄り添うように栽培されました。

ぶどうの木のそばで、いのちの水・栄養を受けて成長し実を生(な)らせるのでした。

ぶどう、聖書の世界では祝福のシンボルです。

聖十字の子どもたちはイエスさまに向って祈りをささげています。

その祈りは、みのりに導かれてゆくことを信じます。その成長の過程に、祈りを共にする幸いを与えられ、子どもたちから励ましを受けているわたしです。

実(じつ)に感謝!

チャブレン池田亨

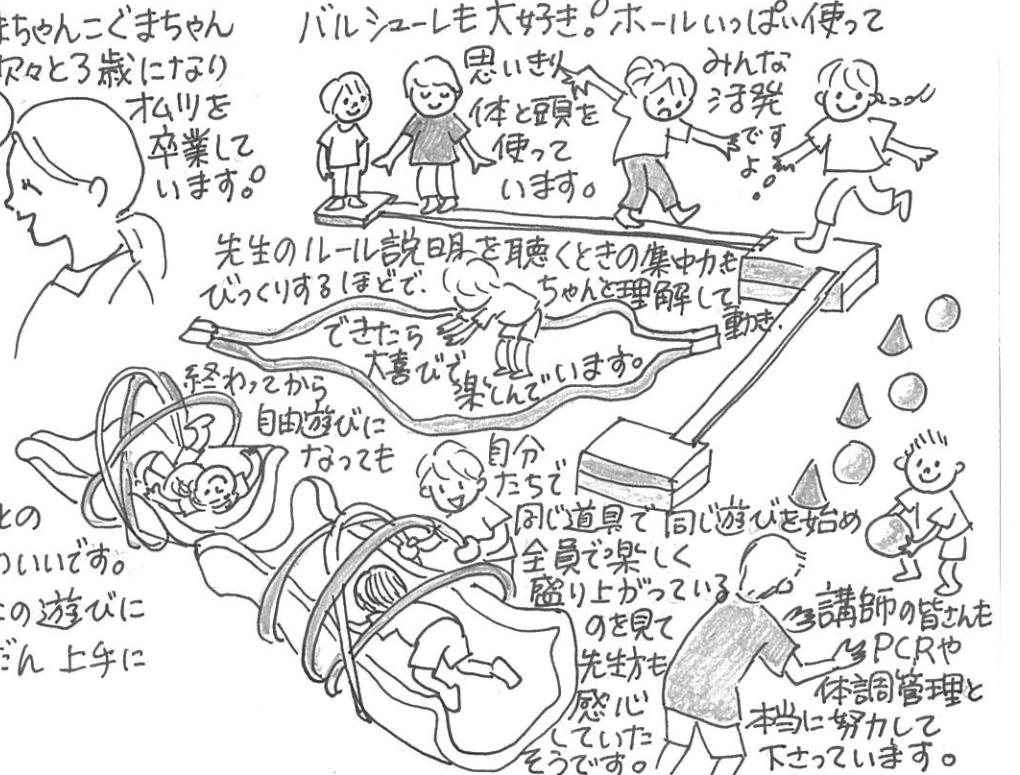


半年がたちました

朝の会、きちんと並んで座り先生がお名前を呼ぶのを身なり出でています。

じー、ハイ!と手を上げて、無事にお返事できたあの満足気な嬉しい笑顔!とってもかわいいです。

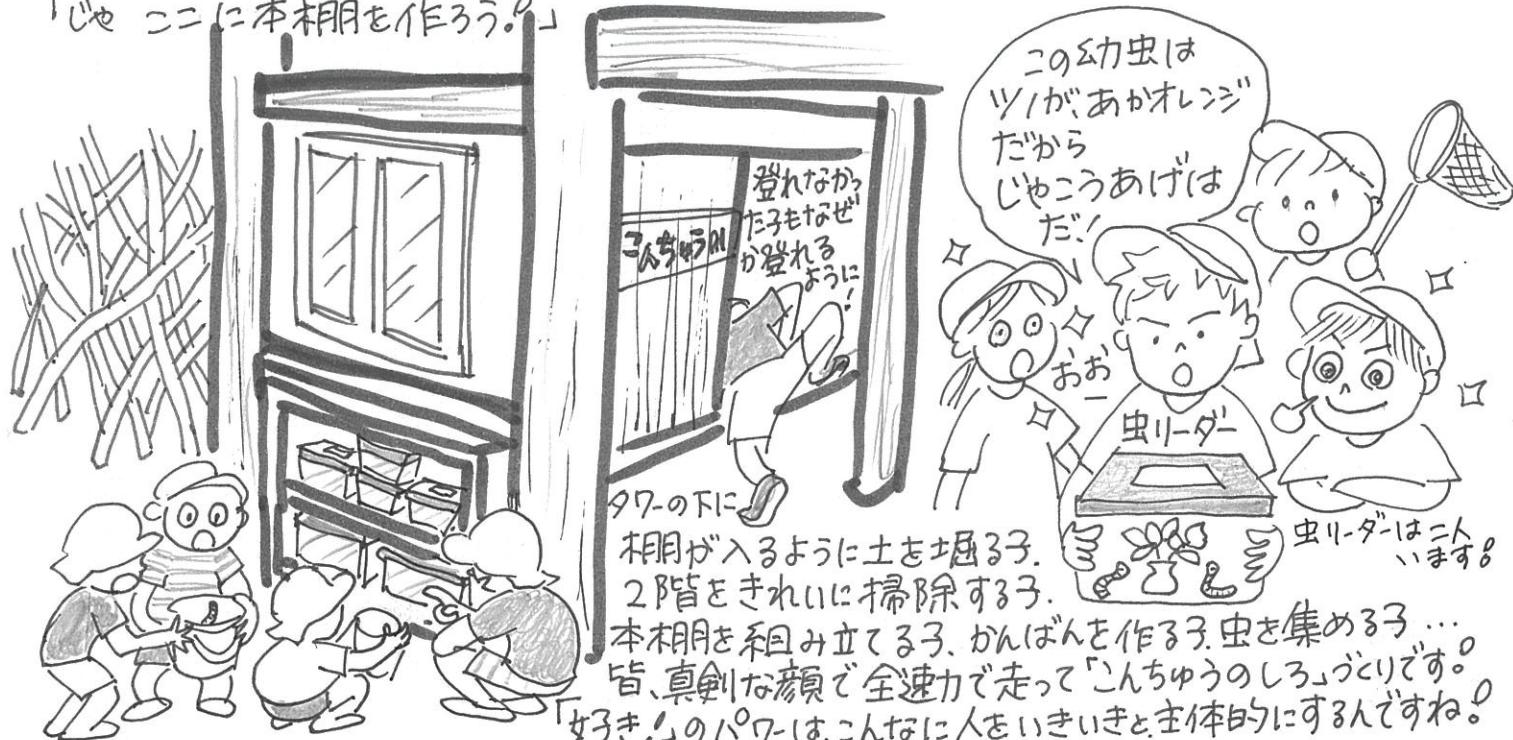
先生方によると、一人遊びから、反対に同士の遊びになってきて、おもちゃの貸し借りもどんどん上手にできるようになってきているそうです。



タワーの2階が今、年長さんたちの手によって、どんどん変化しています。

ムシが熱い!!

「小さい子に虫を見せたい!」「虫のことを言周ぐる部屋がほしい」「虫のケースをいっぱい置けた方がいい」「使ってない木枠があるよ」「なんまえはこんちゅうの木成がいい」「じゃ看板を作ろう!」「囲籠は5冊おく。」「じゃここに本棚を作ろう。」



朝から焼肉キャンプ!?



さなぎのふしき

玄関では、毎朝モンシロチョウのさなぎが、つぎつぎと蝶になっています。同じ虫かごには、キアゲハの幼虫もいます。私が今読んでいる本の中に、さなぎになると中で一度どろどろの液体になる、と書いてあったので、びっくりして調べてみました。さなぎの中の秘密はまだ全部は解明されていないそうですが、確かにどろどろの液体状になるんですね。でも、実は幼虫のうちに体の中に少しずつ準備していた、身体の部品のもとになる細胞があって、さなぎになったらそれを一気に増やして並べて形作っていくそうです。一度溶かした自分の体を材料にして、さなぎという型枠の中に!す、すごい、生物!すごいですね、命!!